



## 飯能ロータリークラブ会報



唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

よいことのために手を取りあおう

## Unite for Good

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ

第2570地区ガバナー 坂口 孝

第3グループ  
ガバナー補佐 高橋 和男

クラブ強化と活性化のために行動してください！

### 第3204例会 2026. 1. 14

—— 職業奉仕月間 ——

天候 晴 (NO. 62-28)

会長 中里忠夫 幹事 都築敏夫

例会日 水曜日(12:30～13:30) 当番 矢島(高)君、吉田(行)君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX (042)973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 中里忠夫会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 吉田(行)職業奉仕委員長
- ・新年記念卓話 新井重治様

#### ◎乾杯

中里会長



#### ◎喜寿おめでとうございます

吉島一良会員



#### 【会長報告】

明けましておめでとうございます。

本日は今年最初の卓話講師として新井市長にお越し頂いております。

残念なご報告ですが、昨年12月末に中川律子会員、志岐祐二会員より一身上の都合として退会届が出され、受理致しました。

2025 - 26年度上期は、飯能RC会員の皆様方のご協力を頂き、何とか無事に終わることができました。感謝申し上げます。

昨年は、年度初めにRI会長の突然の辞任があり、年末には坂口孝ガバナーが急逝され、地区はじめ各クラブにとって今までにない驚きと悲しみの年でありました。下期は、会員同士がより深く交流し合える楽しい例会と、地域の皆様や関係団体と連携しながら、亡き坂口ガバナーが常に言っておられた「強いクラブづくり」ができますよう、頑張ってお参る所存です。会員皆様方のご協力を今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、飯能RCと本日ご参会の皆様的一年が素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます。今年最初のご挨拶とさせていただきます。本年もまたよろしくお願い致します。

#### 【幹事報告】

本日の理事会で、入会候補者の入会が承認されました。異議のある方は7日以内にその理由を明記した書面を会長に提出して頂きたいと思います。2月は当例会場にLED工事

が入りますので、例会場は6階となります。  
1月のR I レートは1ドル156円です。

### 【委員会報告】

◎会報・広報委員会 本間君  
「会報紙についてのアンケート」を配付しました。回答期限は1か月。2月18日(水)までに私か秦、田中委員または事務局にお渡しください。よろしくお願い致します。

◎ロータリー財団委員会 小川君  
先日、服部融亮副会長より財団特別寄付を頂きました。感謝申し上げます(拍手)。

◎出席向上委員会 大野(泰)君  
2月25日(水)第3グループIMの出欠ですが、できましたら本日ご提出頂けると有難く存じます。よろしくお願い致します。

◎地区ロータリー財団委員会 大崎君  
会員1人当たりの寄付額210ドルを基準にクラブへの補助金が100%、90%、80%と決まっていますが、次年度からは、今年度の寄付額に対して100%、80%、60%に変更されます。寄付されていないクラブにはより厳しくなりますが、飯能はたくさん寄付して頂いておりますので次年度も問題ないと思います。よろしくお願い致します。

### 【結婚・誕生日祝】 平沼親睦活動委員

◇入会記念日おめでとう

木川君、間邊君、沢辺君、森田君、大津君  
◇結婚記念日おめでとう

高橋君、秦君

◇会員誕生日おめでとう

山川君、間邊君、鎌田君、吉田(茂)君  
吉島君、平沼君、佐々木君、島田君  
坂本君

◇夫人誕生日おめでとう

吉田(武)夫人、小崎夫人、吉田(茂)夫人  
半田夫人、大崎夫人

### 【出席報告】無届欠席0 森住出席向上委員

会 員 数		当 日	
全 数	対 象	出席数	出席率
67名	7名	62名	92.54%

### 【M U】

12/20(地区)市川君、川口君、伊澤君  
1/9(名古屋北)前島君

### 【S A A報告】

### ◎ニコニコBOX

・新井市長、本日の卓話よろしくお願い致します。有難うございます。

中里会長、市川会長エレクト、服部副会長  
都築幹事、伊澤S A A、小川君、吉島君  
新井君、細田(伴)君、中里(昌)君、加藤君  
高橋君、森君、本橋君、沢辺君

・会員誕生日：吉島君(喜寿)、間邊君、島田君  
山川君、鎌田君、平沼君、吉田(茂)君

・結婚記念日：高橋君

・昨日の、父・義雄の100歳の誕生日には  
多くの方に励ましのお言葉を頂き、大変感謝しております。 加藤君

・入会記念日：沢辺君、間邊君

・新年の挨拶：中里(昌)君、森田君、鎌田君

・夫人誕生日：半田君、大崎君、吉田(茂)君

・ムーミンバレーパークチケットを皆様にお  
配り致しました。ご利用ください。望月君  
本日計81,000円、累計額657,211円。

◎28日例会当番は吉澤、鳥居会員です。

### 【卓 話】

講師紹介 中里会長

2021年、飯能市長に初当選され、昨年、  
2期目の当選を果たし、現在に至っておられます。若い時は体操競技、特に鉄棒に励ま  
れ、柔道も黒帯だそうです。今は毎日が忙し  
く運動はなかなかできませんが、土いじりが  
大好きで野菜などの自家栽培を趣味とされて  
いるとのこと。

## 新年記念卓話

飯能市長 新井重治様

皆様、明けましておめでとうございます。  
今、何と言っても話題を振り撒いております  
飯能市の「緊急財政対策」について本日はお  
話したいと思います。

まずは経緯ですが、特に皆さんが疑問に感  
じておられる、「どうして飯能市だけ急にこの  
ような状況になったのか」「どうして急に緊急  
財政対策に取り組まなくてはならなかった  
のか」等について触れさせていただきます。

飯能市はH17年1月1日に名栗村と合併  
しまして、本年1月1日をもって20年が経  
過したわけです。その間、豊かな自然、緑と  
清流、そして歴史と文化が調和したまちとし



て、それぞれの地域の魅力を引き出しながら市の発展に向けて全力で取り組んで参りました。厳しい財政状況下においても多様な市民ニーズに応えるべく、急激な社会情勢の変化などにも対応すると共に、飯能ならではの事業にも積極的に取り組んできたところでございます。

そういう中で、昨年11月、「飯能市緊急経済対策プラン」に基づく事務事業の見直しを公表させて頂き、市民の皆様をはじめ、さまざまな面でご心配をおかけ致したところでございます。

これまで本市の予算編成は、長年にわたって歳入を大幅に上回る歳出を計上することが慣例的に行われてきました。そのため一般家庭の「貯金」に当たる「財政調整基金」を毎年活用して当初予算を編成する、貯金に頼らなければならない予算編成を繰り返し行ってきたわけです。このようにバランスの取れない予算編成を続けていますと、当然のことながら貯金は枯渇します。歳入に見合った歳出、身の丈に合った予算への転換を図る必要があることから、ここで一旦立ち止まって、全ての事業を根本から見直し、財政破綻することなく、持続可能な自治体へといち早く脱却すべきであり、そして、まさに今が最後のチャンスであると捉え、現に市長の職にある私の責任としてこの度の苦渋の決断をさせて頂いたものです。

今、多くの自治体が大きな課題として捉えているのが「扶助費」、予想をはるかに上回る社会保障費の増大、そして急激かつ大幅な物価高騰の影響で、それらが自治体の行政経営の大きな歳出増加に繋がっています。

配付資料中のグラフで「R3年」が突出した数字になっているのはコロナ対策が含まれているためです。

歳入に見合った歳出、身の丈に合った予算編成を行っている自治体や、このようなことに備えて以前から「財政調整基金」などの残高を確保していた自治体は、現時点で見ますと財政危機には至っておりません。しかしながら今後増え続けていく社会保障費の伸びに対して、どうしても歳入が追い付かないという現象が起こって参ります。「基金」の残高が減っていくことで、多くの自治体が本市と同

様の財政状況となることが想定されているところでございます。

このような状況下において、本市では名栗村との合併後、合併特例債・総額116億円の借り入れ、合併効果分に当たる総額55億円の地方交付税等を財源としてさまざまな事業を行って参りました。

少し戻りまして、先程の「扶助費」ですが、これには、生活保護法・児童福祉法・老人福祉法等に基づいて支出しているものと市が単独で行っているものとがあります。「人件費」・「公債費」と共に義務的経費に属し、任意に削減・圧縮できない経費でありまして、財政構造上からも可能な限り構成比率が低いことが望まれているとされています。

「扶助費」の増額は、国による制度改革や、市独自の子ども医療費支給対象の拡大、あるいは「赤ちゃんスマイルクーポン」の実施による影響もあり、H27年度から比較すると約27億8千万円の増加となっているところです。

このような状況で、先程の合併特例債・総額116億円、合併効果分の総額55億円の地方交付税等を財源としてさまざまなまちづくり事業を行って参ったわけです。

その後、R元年には地方交付税の総額55億円も合併効果分の交付が終了すること、また、「公債費」のグラフで分かるように、合併特例債等の返済額が年々増え続けること、R6年に合併特例債を含めた借り入れの返済がピークを迎えると共に高止まりが続くことに対して、将来の返済を見据えた返済基金への積み立て等による備えができなかったことなど、市政運営として大いに反省しているところでございます。

合併特例債は元利償還金の7割が交付税措置される有利な借り入れだから、「公債費」としての負担は無いのではないかとと言われることがあります。交付税措置されることは、地方交付税の算出基礎となる「基準財政需要額」と呼ばれる標準的な行政経営の一定割合の積み上げに理論上加算されるだけで、元利償還金の7割に当たる額が特定財源として市に入ってくるわけではありません。

そのため、市の一般財源において「公債費」として歳出予算に計上し、返済しているところです。

「公債費」とは「地方債の元利償還金のほか、一時借入金にかかる利子」のことです。

H27年度以降、元利償還金が増加していますが、合併特例債の償還額がピークを迎えていることなどが要因となっております。

ここ数年は借入額より償還額の方が多い状況となっておりますが、今後予定している飯能第一小学校の建て替え・複合化事業では短期間で多額の借入れが想定されており、現時点でのピーク状況が数年続くことが予想されます。これが「公債費」です。

また、合併後の長きにわたり、合併によるスケールメリットを生かした公共施設の統廃合や時代に即したさまざまな施設の使用料の見直しなどを含め、行財政改革の視点に立った取り組みが十分になされてこなかったことも今日の財政を圧迫している大きな要因の一つであると考えております。

「財政調整基金」の変遷を示したグラフでは、H27年度の約18億2千万円からR2年度の約8億3千万円と急激に減っているわけです。私が市長に就任したR3年度以降は、増え続けていた市の借金を減らすと共に、厳しい財政状況下であっても可能な限り「財政調整基金」の残高を戻すことに注力して参りました。しかしながら「物件費」のグラフの示す通り、ここ数年の、この取り組みを大幅に上回る物価高騰による影響や社会保障費などの増大による歳出の大幅な増額が本市の財政を圧迫する大きな要因の一つとなっております。

本市としては、過去の行政経緯における反省すべき点はしっかりと反省し、全国的に進んでいるこれらの財政構造の変化に対する危機を将来に先送りすることなく、一刻も早く克服するため、いち早く取り組んだものでございます。

そして、飯能市としては、これから歳出を削るだけでなく、歳入の確保、これに力を入れていく所存です。

例えば企業誘致や、使い道のない公有地・公共施設を積極的に処分していくことなどです。合併後、公共施設の(市民1人当たりの)保有面積が、飯能市は埼玉県平均の1.5倍になっていきますので、施設の統廃合を進めて、経費の削減、維持管理費の縮減にも取り組んで参りたいと考えているところです。

まずは法令等で市の負担割合が定められている社会保障費等の義務的経費をはじめ、市民の皆様の生命・財産を守るための事業の予算を最優先に確保するため、市が任意で行っ

ている事務事業を廃止あるいは休止せざるを得ない状況となりました。

今回の事業見直しにつきましては、私も本当に最後の最後まで大変苦しい思いをしたところでございます。ご理解を頂ければと思います。飯能市の明るい未来のため、将来に負担を先送りすることは何としても避けたい、という強い思いがございました。

市民や関係団体の皆様にはさまざまな面でご負担をおかけ致しますが、市民の皆様の幸せ、そして、ふるさと・飯能を守り抜くための取り組みとして、財政破綻することなく、持続可能な自治体として生き残るために、他の自治体に先駆けて、いち早く、この「緊急財政対策」に着手した次第です。

これから職員一同、私が先頭に立って、改革に取り組んで参りますので、RCの皆様におかれましても何卒ご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

今までは歳出に合わせた予算編成でしたがこれからは、歳入に見合った歳出、これも重要なことですので、その辺を頭に叩き込んで公務に励んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

また、歳出の削減として、私の給料を減額する準備にも入りましたので、そのこともお伝えさせて頂きたいと思います。

以上、「緊急財政対策」の取り組みについてのご説明でした。

いろいろなところでご迷惑をかけるとは思いますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げまして、私からのお話とさせて頂きます。有難うございました。

